

令和6年第9回定例会

議案説明資料

提出課：長寿支援課

議案番号		120	令和6年度大山町一般会計補正予算(第7号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	15	民生費	項	5	社会福祉費	目	3	老人福祉費
事業番号		85	事業名		老人福祉費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		高齢者全般			総合計画における位置づけ		
						16 困った時に困ったと言い合える関係性をつくろう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域内で連携して提供される体制の構築を図る。			所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						健康・長寿・福祉のまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
						介護保険法、老人福祉法		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
399,863		4,705						4,705
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳		
【補正理由】								
●過年度県支出金返還金(老人福祉費) 令和5年度いきいき高齢者クラブ活動支援補助金(老人クラブ活動補助金)の額確定に伴う返還金 県補助金1,712千円－所要額1,553千円＝返還金159千円						22-1償還金利子及び割引料 159千円 いきいき高齢者クラブ補助金返還金		
●繰出金(介護特会) 介護保険特別会計事業費の見込額の増減に伴う繰出金の補正 介護保険事業・保険給付費分 4,251千円 介護保険事業・人件費分 638千円 介護保険事業・事務費分 243千円 地域支援事業・介護予防事業分 ▲586千円						27 繰出金 1 繰出金 4,546千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)								
款-項-目-節-細節			説明名称			補正前の額	補正額	補助率等

令和6年第9回定例会

議案説明資料

提出課：長寿支援課

議案番号		120	令和6年度大山町一般会計補正予算(第7号)		
(提案理由 及び 議案概要)					(単位:千円)
款	15	民生費	項	5	社会福祉費
			目	3	老人福祉費
事業番号		958	事業名 外出支援サービス事業		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		単独移動ができず、かつ要介護認定者、身体障害者手帳1・2級に該当する方		総合計画における位置づけ 16 困った時に困ったと言い合える関係性をつくろう
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		交通費負担軽減		所信表明の「5本柱」における位置づけ
					健康・長寿・福祉のまちづくり
					根拠法令・要綱等
					大山町外出支援サービス事業実施要綱
補正前		今回補正額	今回補正額の財源内訳		
			国庫支出金	県支出金	地方債
					その他
					一般財源
7,930		100			100
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳		
4月から半年で300千円支出。このペースでいくとあと半年300千円が必要だが、残が200千円しかないため 月平均 50千円 現予算額500千円に対し必要額600千円			15-2 需用費 燃料費 100千円 @50,000円×2か月		
参考) 実績(執行額、給油量、走行距離、利用延べ人数・回数) R6.9月末 301,280円、1670.04ℓ、10,192.1km、 69人・ 705回 R5年度 410,285円、2295.64ℓ、13,660.1km、132人・1,050回 R4年度 364,321円、2106.69ℓ、13,614.7km、147人・ 946回					
利用登録者数(うち透析登録者数)) R6.9月末 24人(7人) R5年度 33人(6人) R4年度 36人(6人)					
(財源内訳の詳細 単位:千円)					
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額	補助率等
90-5-10-27-2		過疎債ソフト(訪問サービス事業補助金)		7,200	100

令和6年第9回定例会

議案説明資料

提出課：長寿支援課

議案番号		120	令和6年度大山町一般会計補正予算(第7号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	15	民生費	項	5	社会福祉費	目	3	老人福祉費
事業番号		1471		事業名		高齡者補聴器購入費助成事業補助金		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		聴力機能の低下により日常生活に支障がある65歳以上の高齡者			総合計画における位置づけ		
						16 困った時に困ったと言い合える関係性をつくろう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		補聴器本体等の購入費の一部を助成し、閉じこもり、認知機能の低下等を防ぐとともに、積極的な社会参加及び地域交流を支援する。			所信表明の「5本柱」における位置づけ		
						健康・長寿・福祉のまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
大山町高齡者補聴器購入費助成事業実施要綱								
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
600		300				300		0
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳		
【補助理由】 希望者が多く、当初予算額を超える見込みがあるため増額する。 【執行状況】 当初予算額 600,000円 (20人) 支出命令額 505,500円 (17人) ※10/29現在の申請者は18名。他にも問い合わせが入っている。 ※参考 R4.10月から制度を開始 決算額 R4 270,000円(9人) R5 900,000円(30人)						18負担金補助及び交付金		
						2補助金及び交付金		